

選挙に行こう！

いのちとくらし
守るために
政治を
変えよう私たちの一票で安心して生き、
くらせる社会を実現しよう

日本医労連 中央執行委員長

佐々木 悦子



1月23日に召集された「第220回通常国会」の冒頭で衆議院が解散され、1月27日公示・2月8日投開票で衆議院解散総選挙が行われることとなりました。通常国会の最優先課題である、国民生活に関わる新年度の予算審議が後回しにされての総選挙となります。高市首相は当初、「経済対策が最優先」、「解散について考える暇はない」と主張してきたにもかかわらず、円安や物価高の終わりが見えないなかで、年度内の予算成立を困難にしてまで、なぜ解散・総選挙を急ぐのでしょうか。高市首相は、「暮らしの安全・安心を確保する」と述べていますが、連立政権合意書には「OTC類似薬」の保険外しや、高齢者の医療費窓口負担増など社会保障抑制と国民への負担増が盛り込まれており、国民のいのちと暮らしが脅かされています。

すべてのケア労働者の大幅賃上げと医療・介護を守るための報酬10%以上の引き上げを求める私たちの運動によって、26年改定の診療報酬引き上げと介護報酬・障害福祉サービス等報酬の期中改定を実現しましたが、その水準は私たちが求めるものには遠く及びません。厚労大臣は、報酬引き上げに

期日前投票に行きましょう。

毎日が投票日！
手ぶらで投票できます。投票所の場所を
確認しましょう

まずは

期日前投票とは

期日前投票制度は、選挙期日前であっても、選挙期日と同じ方法で投票を行うことができる仕組みです。



期 間 1/28(水)から2/7(土)まで
午前8時30分から午後8時まで

場 所 市区町村役場や出張所のほか、
臨時で設置される
「期日前投票所」で投票できます。

持ち物 投票所入場整理券
選挙人名簿に登録されていれば、
入場整理券がなくても
投票することができます。

※詳細は市区町村選管にお問い合わせください

ついて、「医療関係者等、大変厳しい経営環境にある」、「賃上げが求められている」としながらも、「労働者の賃上げに伴う保険料増収の範囲内で社会保障費の予算案を取りまとめる」としています。つまり、医療・介護崩壊が目前に迫っているなかでも、医療・介護の充実・強化のために国の予算を増やす方針ではないということです。今、すべての国民が、必要な医療・介護・社会保障を受けられ、安心して生き・暮らせる社会を実現する政治への転換が強く求められています。それを実現するのが私たち国民一人ひとりです。医療・介護を守る私たち医療・介護労働者こそ必ず選挙に行き、国民第一の政治に転換しましょう。

STOP!

自民・維新の

医療介護 改悪



選挙に行って、政治を変えよう

高市首相は今回の解散総選挙について、「自民・維新の政策合意をすすめるにも、国民の審判を受ける必要がある」と記者会見で述べました。その政策合意に基づく政治は、果たして本当に国民のことを考えられた内容なのでしょうか。

自民・維新が合意している政策

社会保障
関連

自民党と維新の会
は「現役世代の社会
保険料負担6万円の
軽減」を名目として、国
民の医療・介護を受け
る権利を大幅に削減
しようとしています。

主な内容は

- 病床11万床（一般・療養病床約5.6万床、精神病床約5.3万床）を削減
- OTC類似薬の保険適用の見直し（77成分・約1100品目）
- 高額療養費制度の限度額引き上げ（制度利用者全体の約8割に影響）
- 介護三大改悪（ケアプラン有料化・利用料2割の拡大、生活援助外し）

OTC類似薬の自己負担増のイメージ (1000円の薬で健保3割の場合)

負担額	負担割合
300円	負担3割
700円	保険給付
275円	負担追加
225円	負担3割
525円	保険給付

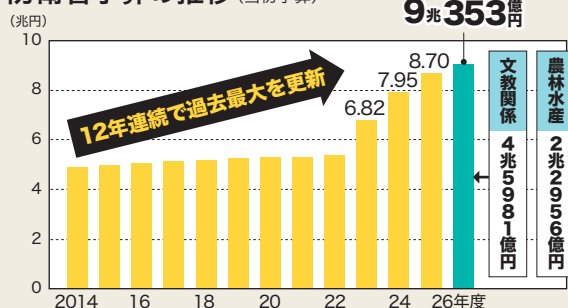
下記の対象薬が約**1.7倍**の負担増に

- 主な対応症状
- 風邪症状全般
 - 腰痛、肩こり(外用)
 - 鼻炎(内服・点鼻)
 - みずむし
 - 胃痛、胸やけ
 - 殺菌、消毒
 - 便秘
 - 口内炎
 - 解熱、痛み止め
 - ふきでもの、皮膚症状 等

現政権は、社会保険料引き下げで手取り増をうたい、特に現役世代にアピールしていますが、実は国民にさらなる負担増を強いる政策をすすめています。

防衛関連費にさらに積み増し

防衛省予算の推移(当初予算)



長距離射程ミサイル等の整備
武器生産に関わる工場を国営に
自衛官の処遇改善、年金制度創出

現政権は社会保障費を抑制する一方で、防衛費予算の計上には歯止めをかけていません。23年度からは毎年約1兆円のペースで防衛費を積み増ししています。

戦争ではなく、いのち・平和を大切に

政府が軍備増強をすすめる背景には、「軍事力による戦争抑止」論があります。しかし、軍拡競争は際限のない財源増を招きます。私たちは、過去の大戦の痛苦の経験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」と決意して活動しています。軍拡ではなく、いのちとくらし・平和を大切にする政治の実現を求めます。

休廃業続出の訪問介護事業所への支援にはたったの**56億円**

衆議院選挙にかかる費用(財務省より)

選挙にかかるお金はすべて税金

2026年は約**855億円**

2024年は約**729億円**

今優先すべきは物価高に苦しむ国民生活の改善です!

軍拡よりも、いのちとくらしを大切にする政治を

物価高騰に見合うケア労働者の大幅賃上げの実現

全国どこにいても安全・安心にかかれる医療・介護・福祉の実現

